

報告

みやぎ生協

鳴瀬川・吉田川環境サミット

水辺を感じることに

10月29日(火)みやぎ生協文化会館ウィズにて「第10回鳴瀬川・吉田川環境サミット」が開催されました。今回は、この10年間を振り返りながら、これからの活動につなげていく区切りのサミットと位置づけ、テーマを「10年の歩み、そして未来へ～もっと水辺を感じてみよう～」としました。当日は、行政、他団体、みやぎ生協メンバー約70名の参加を得、北上川下流工事事務所の山路登さんを講師に「川と人、生活と水のかかわりについて」と題した講演をはじめ、みやぎ生協名誉理事で現MELON評議員の青木幹子さんに発足当時の熱い思いやご苦労などを話していただきました。また、各地域の取り組み発表も、親子や子どもを意識した「出来る事から出来る範囲で楽しく」を具体的に提示した内容でした。

昼食は「エコクッキング」で、食材を無駄無く使う事を提案し、食べ終わった食器を古い電話帳や厚紙のへらで拭いてから洗うという「エコライフ」をちょっぴり体験していただきました。



「エコクッキング」でカレーライスを作りました。

報告

MELON 事務局

ヨハネスブルグサミットの内容に市民の関心

ヨハネスブルグサミット参加後、合計7回報告会を行いました。

サミット前には関心がやや薄いのかと心配したのですが、サミット開催後、新聞等でとりあげられたこともあってか皆さんの関心が非常に高く、「サミットで何が決まったのか」「どんな雰囲気だったのか」「アメリカの政府への反応はどうだったのか」「他のNGOの活動で参考になった点は」などいろいろな質問が出されました。

今後も県内で、アジェンダ21、ヨハネスブルグサミットについて伝えていく活動を継続して行きます。収集した新聞記事や資料等が事務局にありますので、お気軽にご利用ください。また、皆さんの地域で報告会を開きたいという要望がありまし

たら、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先：tel 022-301-9145 担当：南

サミットで話し合われる問題の背景などを知るには以下の2冊がお勧めです。

◇「エコ・エコノミー」レスター ブラウン (著),2002年,家の光協会

◇「地球白書〈2002-03〉」—ワールドウォッチ研究所 エコフォーラム 21世紀,クリストファー フレイヴィン (著),2002年,家の光協会

MELONが参加したその他の主な活動

- みやぎ生協20周年記念「生協まつり」に出展
日時：2002年9月29日(日)9:00~16:00
場所：勾当台公園
内容：自然エネルギーによる発電機器の展示。
太陽光パネルによりパソコンを動かし、みやぎエコライフCD-ROMのデモ、環境家計簿モニターの募集

36名の方がモニターに新規登録していただきました!

- 七ヶ宿町民まつりに参加
日時：2002年10月20日(日)9:00~14:00
場所：七ヶ宿町役場駐車場
内容：自然エネルギーコーナーに参加。ペレットストーブの展示。
- 東北大学祭に参加
日時：2002年11月3日(日)13:30~15:00
場所：東北大学
内容：東北大学LSC(Life Science Circle)主催のシンポジウムで講演。